

# 清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて

——1889年江浙賑捐を例に——

## 伍 躍

人類の歴史上、政府がそれ自身の抱える財政問題の解決を図って関係規定を作り、それに従い官職や栄典を官僚や一般人民に販売する制度、つまり売官制度がかつて存在した。それは、伝統中国のみならず、日本・朝鮮半島・ベトナムといった東アジア世界から、中東・イスラーム世界を経て、西欧の世界にいたるまで広く存在していた。時代や地域によっては、その制度はさまざまな様相を呈したが、それがもたらした影響や結果もさまざまであった。たとえば、西欧世界の絶対王政期においては、その制度の存在は近代官僚制を助産したともいえるが、東アジアの中国においては、その制度の存在は、伝統官僚制の崩壊をもたらしたが、中国的近代官僚制の誕生にはつながらなかった。このように、一見して共通するようにみえる制度がもたらす影響は、地球の東西においてまったく違うものであった。このなかで、東アジアの中国でかつて存在した売官制度は、世界の売官制度の一典型であり、東アジア世界における売官制度の完成形態でもある。この典型的な制度を研究することを通じて、中国社会が歩んできた道をより全面的にみることができ、また、人類社会の発展史における東アジア世界と西欧世界がそれぞれ歩んできた道の違いを見出すこともできるだろう。さらにいえば、現代中国社会に現存する「売官的現象」を理解するための一助になることができる。

伝統中国においては、その売官制度を「<sup>えんのおう</sup>捐納制度」と呼ぶ。その制度の歴史は古く、秦の始皇帝が中国を統一する紀元前221年以前にすでに存在した。たとえば、戦国時代の紀元前243年、秦の国ではイナゴが大発生し、疫病も流行した。秦の朝廷は、救済資金を調達するために、粟「一石」を納める者に対し、爵位を与える措置を実施した<sup>1)</sup>。実は、最後の王朝である清朝が崩壊した1912年までに、中国歴代の王朝は資金調達的手段として捐納をしばしば行なった。

捐納制度の実施によって「販売」したのは官僚の任官資格、官僚人事の手続きおよび国立学校の入学資格のほか、<sup>きょうかん</sup>虚銜と呼ばれる職掌なき名誉的なポストも含まれるため、その影響は、財政面にとどまらず、国家の人事制度をはじめ、国政運営や社会生活のさまざまな面までに及んでいた。まずは、賦税や徭役などを代表とする伝統中国の財政制度と違って、捐納実施の基準は一定の土地保有面積や人丁の数ではなく、財力であった。この意味からすれば、通常の賦税や徭役で財政を賄うことがほとんどできない伝統中国においては、捐納は政府による緊急資金の調達手段である一方、社会における富のバランスを調整する手段の一つでもあった。次に、出世の道は官僚になるほかにどこにもなかった伝統中国において、捐納制度は、科挙制度を代表とする知力による出世の道と並行して、財力による出世の道であった。一定の財力があれば、知力を問わず誰も任官資格をもらえるようになった。実は、伝統中国における捐納制度の社会的影響はここにある。このように、近代以前の中国社会の歩んできた道およびその虚銜に対する中国人の意識構造を解明するにあたり、捐納制度とその影響に対する研究は無視できないものであるといえよう。

清朝捐納制度についての研究は、すでに百年近くの歴史がある。これまでの研究では、捐納制度の構成・展開・影響などについて優れた成果を挙げている。たとえば、1913年、臨時台湾旧慣調査会の名義で公刊された『清国行政法』のなかで、「捐納」を清朝の財政措置のひとつとして取り上げ、その制度の構成などについてはじめて説明している<sup>2)</sup>。また、1950年、許大齡が燕京大学に提出した修士学位申請論文である『清代捐納制度』は『燕京学報』の「特集」として刊行された<sup>3)</sup>。これは、清代の捐納制度を一つの独立した制度としてはじめてとらえて研究した論文である。このなかで、許大齡は、清代以前の捐納制度を概説したうえで、政治制度、とりわけ人事制度の角度から清朝政府が公表した捐納規定——「捐納則例」などの政書史料を利用して、清朝捐納制度の概要・成立から崩壊に至るまでの経緯・制度の構成などについて研究した。半世紀前に刊行されたこの研究書は、今日になっても、依然として清代捐納制度および清代人事制度などを研究するうえでの欠かせない古典的な参考書である。1960年代、近藤秀樹は、捐納制度と清朝官僚制についての一連の労作を公表し

た<sup>41</sup>。そのなかで、近藤秀樹は、当時ほとんど注目されていなかった清朝の職員録である「爵秩全覽」の史料を用いて、具体的な数値を挙げて捐納制度の実施がもたらした清朝官僚制度の変化を説明した。

これらの研究は、ほとんど清朝捐納制度の構成を分析するものであり、捐納制度がもたらした社会影響についても触れてはいるが、捐納をする一般庶民や官僚にとって、捐納はいったいどのようなものなのかについてはほとんど研究されていなかった。つまり、一般庶民にとって、捐納のメリットはどこにあるのか、そして、彼らはどのように報捐を行い、任官の資格を獲得し、そして実際に任官したのか、などである。

報捐の手続きや捐納代行について、筆者は、かつて論じたことがある<sup>42</sup>。そのなかで、筆者は、『大清会典』や『戸部則例』などの清朝政書を利用し、はじめて報捐手続きの復元を試みた。さらに、その報捐手続きの運用問題を解明するために、筆者は、捐納の代行および代行業者の存在なども指摘している。しかし、その研究には、大きな遺憾が残されている。つまり、報捐者はいったいどのような者なのか、彼らが何の捐納報償を求めて、いくらの銀を出して報捐したのかといった報捐のもっとも基本的な問題についてまったく触れていなかった。その原因は、当時の筆者が報捐者名簿の存在を知らなかった、というところにある。その論文を公表したあと、幸運にも科学研究費補助金の交付を受けて、報捐関係資料の調査を通じて、報捐者名簿の存在を始めて知ることになった。

本稿のなかで、最近になって発見した史料を利用して、1889年に江蘇省や浙江省で実施された賑捐にしたがって報捐した者の状況を分析することを通じて、中国捐納制度史のデータベースの構築に向けて試みたい。

## —

報捐の段階で形成した書類、とくに報捐者の基本状況を記録するリストや名簿などは、清代では山のように存在したにちがいない。しかし、これまで捐納者名簿のような資料はほとんど紹介されていなかった。周知のように、名簿類資料の価値を探り出し利用するかは、なかなか難しいことである。清代の官僚

名簿である爵秩全覽<sup>①</sup>のような書物と違って、報捐事務の過程のなかで形成した報捐者の名簿は、刊行する価値はもとよりなく、その報捐者本人に身分証明書である「執照」を交付してしまえば、名簿としての利用価値はほぼなくなる。そのため、捐納者名簿のほとんどは、研究者の目に触れるまえにすでに無くなってしまった。さらに、近代に入り、漢籍図書館事業が確立して以来、宋元刊本をはじめ、いわゆる善本の蒐集に精力を注ぎ、清末の報捐者名簿のようなものは蒐集の対象にならず、その大部分は、档案馆や図書館に入るまえに塵に帰してしまっただけに違いない。

さいわい、東洋文庫に一冊の報捐者名簿が残されている。それは、『造送浙江賑捐第十三次請獎各捐生履歷銀数底冊』である。この名簿は、『東洋文庫所蔵漢籍目録』に収録されているが、その詳細については知られていなかった。2003年の夏休みに、東洋文庫で資料調査の機会を得、この名簿を閲覧した（写真1を参照）。

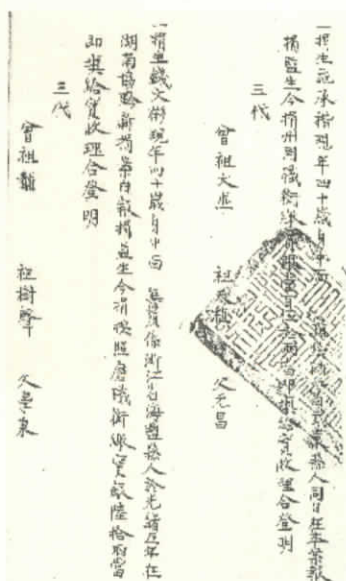
この名簿は縦29.4cm、横17.7cmで、漢籍のなかで比較的大きなサイズに入る。その最後の葉に書いてある作成した日付は、「光緒十六年十一月 日」とし、その上に「浙江籌賑總局関防」の長方形の判が押されている。名簿の扉葉に「浙江賑捐核獎総局」の文書がある。

浙江賑捐核獎総局呈為造冊請獎事。  
今將浙省賑捐案內第十三次各捐生  
請獎翎枝銜封貢監生履歷銀数造具  
清冊、呈送核施行。須至冊者。

計開

翎枝銜封貢監生共七百九十三名、  
實銀十一万八千二百九十一兩五錢。  
核数相符、理合登明。

2003年夏休み、この名簿をはじめて閲覧したときに、上述した「浙江賑捐核獎総局」・



↑【写真1】



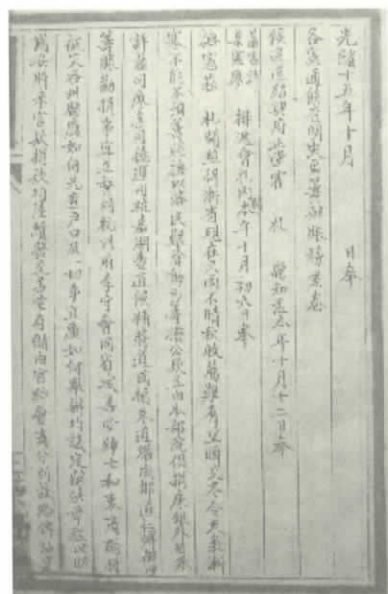
「浙省賑捐案内第十三次」などについてはまったく知らなかった。その後、京都大学文学部図書館で漢籍資料を調査する幸運に恵まれ、一冊の抄本を閲覧した。そのタイトルは、『光緒十五年十月 日奉各憲札飭查明本省災區籌辦賑務撫恤卷』(以下、『賑務卷』と略称)である(写真2を参照)。この抄本を閲覧したことによって、光緒十五年(1889)の秋に江蘇省と浙江省で発生した水害の被災者を救援するために、「江浙賑捐」を開いたこと、上述した「浙江賑捐核獎総局」は、その浙江省で設立された江浙賑捐の所管衙門であることがはじめて分かった。なお、以下の二点も当該資料の作成年代などを判断する重要な手がかりである。

まずは、この名簿に記載されている報捐項目は、貢監(貢生と監生)・封典・虚銜・翎枝・頂戴であり、それが『賑務卷』などの資料に記載されている光緒十五年の冬から実施した江浙賑捐の報捐項目と一致する。

次に、この名簿に記載されている道員をはじめ、あわせて13名の現職地方官の名前などの人事資料は、光緒十六年冬季版の『大清摺紳全書』を利用して確認することができた(後述)。

こうした点から、東洋文庫が所蔵しているその名簿は先述した光緒十五年年末から光緒十六年(1890)年末までに浙江省で行われた江浙賑捐の第十三期目報捐者の「翎枝銜封貢監生履歴銀数」の台帳であり、しかも信憑性の高い資料であることがわかる。

この名簿を実際に確認したところ、その台帳に掲載されている報捐者の人数は、793名ではなく、789名で、得た「実銀」の総数は118,291.5両ではなく、118,037.5両であることもわかる<sup>1)</sup>。



↑【写真2】

なお、この789名は、浙江省でおこなった賑捐の第十三期目報捐者ののべ人数である。そのなかの58人は二回捐納し、5人は三回報捐した。したがって、実際に報捐した者は、721名であった。このような二重ないし三重の報捐は、清代捐納の際によく見られる現象であった。たとえば、浙江省杭州府海塩州籍の黄朝樑（現年十一歳）は、まず「俊秀」の身分で監生（No.554）を報捐したあと、「捐生」の身分で「県丞職銜」（No.78）を報捐し、さらに「捐員」の身分で「藍翎」（No.1）を報捐したのである<sup>61</sup>。

この名簿は、①手書きの部分と、②すでに印刷された用紙に、要件を書き入れて作成したものからなる。①はNo.1～142、No.258～368で、おもに捐員や捐生のような多様な経歴をもつ報捐者であり、②はNo.143～257、No.369～789で、おもに俊秀のようなはじめて報捐した者である。その②の一例として、No.715をあげよう（網掛け文字は印刷した部分）。

俊秀張宗浚、現年三歳、身中、面 口鬚、係浙江省嘉善県人、  
報捐監生、繳実銀五十四両、当即填給執照、理合登明

三代

曾祖 応鳳 祖 懐芳 父 文徳

「俊秀」とはいかなる肩書や資格も持たない民間人、「現年」とは実際の年齢、「身中」とは身長は普通であること、「面」とは顔の色（例えば、面白、面赤、面紫など）、「鬚」とはひげ（例えば、有鬚、無鬚など）、「係」以下の部分は本籍、「報捐」以下の部分は報捐項目、「繳実銀」以下の部分は実際に納めた銀の数、「当即填給執照、理合登明」とは、直ちに執照を記入して発行し、ルールにしたがって記載すること、「三代」以下の部分は、報捐者の尊属三代（曾祖父・祖父・父）のこと、などである。つまり、浙江省嘉善県籍の庶民張宗浚は、現年三歳、身長は普通である（顔色やひげについての記録がないが、そもそも三歳児にひげがあるはずがない）。彼は監生を報捐するために、実銀五十四両を納めたため、ここで執照を発行するとともに、記録にとどめよう、ということである。最後は、尊属三代の名前である。

以下では、この台帳を通じて、報捐者データベースを作成するとともに、報捐の実態を見てみよう。それに先立ち、光緒十五年から十六年にかけて実施さ

れた「江浙賑捐」について簡単に紹介しておきたい。

## 二

光緒十五年秋の七・八月の間、浙江省と江蘇省の江南地方を中心に、水害が発生した。

七月下旬、暴風雨に襲われた。紹興府山間部にある嵊県では、長さ「七十余里」（約35km）、幅「二十余里」（約20km）あった「大小八十余村」が、洪水で流され「沢国」になり、上海で出版される新聞である『申報』は「百数十年來未有之奇災」と報じている。温州府玉環庁のある村は、もともと世帯二百余り、人口八百人が住んでいたが、洪水が去ったあとに生き残ったのはただ八人だけだった。また、湖州府のある村では、住民三四百世帯のうち、生き残ったのは男子七人だけだったという<sup>91)</sup>。

その暴風雨が去ったあと、八月の初めから九月下旬にかけて、四十日間ですでに罹災している浙江省の北部の湖州府・嘉興府、および江蘇省の蘇州府をはじめ、江南地方では曇りや雨の天气が続いた。浙江省湖州府では、七月下旬に暴風雨が来たとき、稲がすでに成熟して、収穫を待つばかりであったが、洪水で水没してしまった。それでも、水位が下がり、晴天に恵まれれば、ある程度の収穫はなお可能だと当地の人々は期待していた。だが、八月初めからの連日の雨で、水位がなかなか下がらないため、水没している穀物が発芽したり、腐ったりして、収穫を見込めなくなった。にもかかわらず、農民たちはわずかな期待を持ちながら、水車を使って田んぼの水位を下げようと必死に努力したが、効果がなかった。その上、前回の暴風雨で家屋が壊れ、長雨のなかで住むどころもなかった難民の悲鳴が遠くからも聞こえる、と新聞が報じている<sup>10)</sup>。

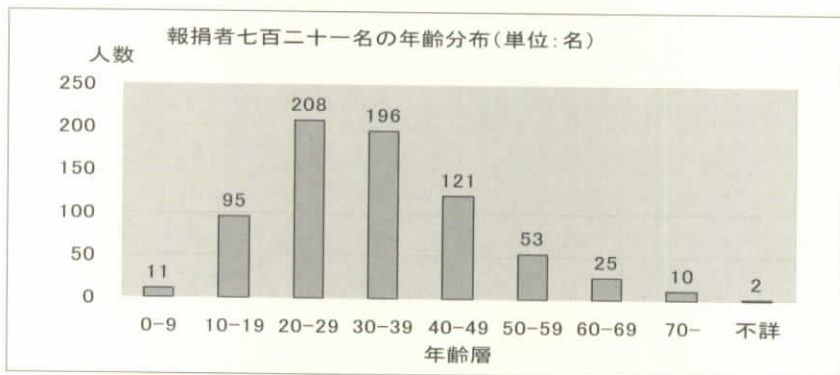
こうしたなか、両江総督曾国荃・浙江巡撫崧駿ら江南の地方長官は、緊急救援措置をとる一方、光緒十五年十月二十七日、両江総督曾国荃をはじめ、江南の督撫たちは連名で賑捐実施の奏摺を皇帝に上奏した。この要請は、戸部の協議を経て、十一月十一日に認められた。一方、江南の督撫たちは、賑捐の実施に備えて、賑捐事務を取り扱う局を設立させた。そのため、両江総督のもとに

においては、「籌辦蘇浙賑捐總局」（南京）と「籌辦蘇浙賑捐滬局」（上海）が開設された。浙江省においては、浙江巡撫崧駿は、すでに設立した「籌賑總局」を浙江省で賑捐を取り扱う窓口に指定した。このようにして、光緒十五年年末から、江浙賑捐が実施されることになった<sup>11)</sup>。

### 三

以上では、資料、つまり『造送浙江賑捐第十三次請獎各捐生履歷銀數底冊』を紹介して、光緒十五年江南地方で発生した水害についても概観した。以下では、先に紹介した資料に基づいて、光緒十五年から十六年にかけて実施した「江浙賑捐」で報捐した者の状況を考え、清代の社会における捐納制度の実像を探ってみよう。

#### 1、年齢分布



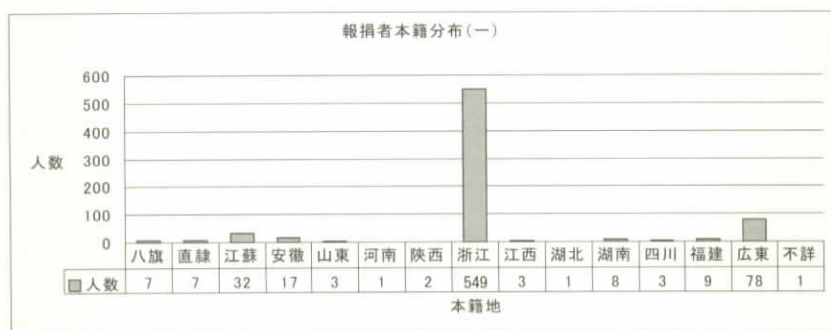
上記のグラフから見られるように、実際に報捐した721名の捐納者の年齢分布は、二十代が最も多く、三十代報捐者とあわせて報捐者全体の56%にのぼる。これと関連して、二十代報捐者のべ225名のうち、何の出身資格を持たない「俊秀」は170名、「捐生」は12名、「捐員」は43名がいる、ということによって、二十代報捐者の75%は初めて捐納することがわかる。その170名の「俊秀」の初捐納項目について、143人は監生を、27人は虚銜を捐納した。なお、監生や



虚銜を捐納したあと、さらに他の項目を捐納した者は29名いる。

このべ789名の報捐者のなかに、三歳から八歳までの報捐者が12名いることに注目したい。二回捐納した者一人を除いて、捐納項目はすべて監生である。そのうちの6人が捐納した監生の資格は、割引のない、将来郷試を直接受けられる「十成監生」である。ちなみに、監生資格を報捐した最高齢者は、七十三歳の老人である。

## 2、報捐者本籍分布（一）

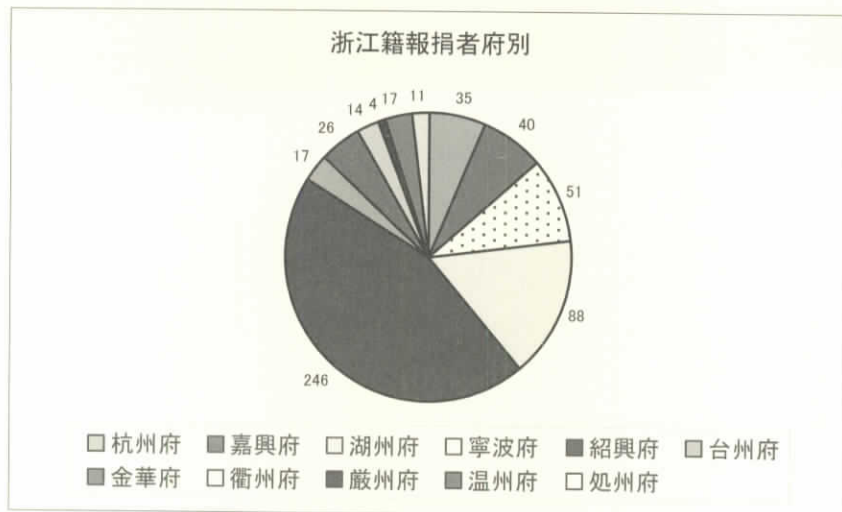


浙江省出身者が最も多く、549名で、浙江省で開かれる今回の賑捐の地方性をうかがわせる。なお、近隣の江蘇省・安徽省・江西省・福建省籍の報捐者が少ないのに対し、遠隔地の広東省籍の報捐者が報捐者総数の二番目を占めたことも目に付く。

## 3、報捐者本籍分布（二）

台帳が反映するのは第十三期目の報捐のみだが、参考までに、浙江籍報捐者の549名の出身府別を見てみよう。このなかで、紹興府出身は246名で、ほぼ半分の44%を占めている。なお、浙江省の先進地域で、今回の被災がもっとも重い杭州府・嘉興府・湖州府・寧波府、および紹興府籍の報捐者は、あわせて459名で、報捐者全体の八割以上にのぼったことがわかる。

以下はのべ人数をもとに報捐者身分や項目などを見てみよう。



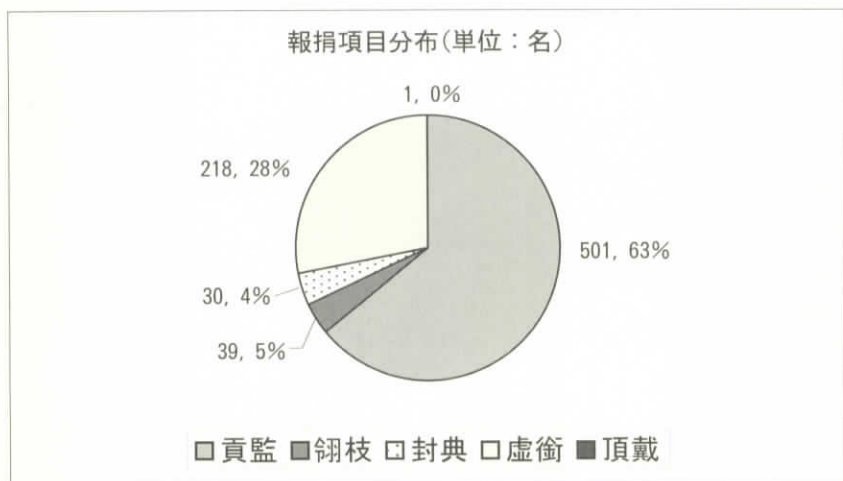
#### 4、報捐者身分

のべ789名報捐者の報捐時身分は以下の通りである。

俊秀	532	67%
捐生	170 (うち、武生1名)	22%
捐員	87 (うち、已満吏1名)	11%

これによれば、報捐者はほとんどいかなる出身資格も持たない民間人であることがわかる。ここの「捐員」のすべては現職の官僚には限らない。87名のうち、光緒十六年冬季版の『大清摺紳全書』を利用して確認したところ、現職の者は道員1名（花翎を捐納）、知府2名（花翎を捐納）、知県6名（花翎捐納3人、虚銜捐納2人、封典捐納1人）、佐雜官など4名、あわせて13名に過ぎないことがわかる<sup>12)</sup>。これに対し、候選候補官は30名いるが、虚銜しかもたない者は44名いる。この「捐員」たちが報捐する項目は、ほとんど翎枝と封典であったこともわかる。

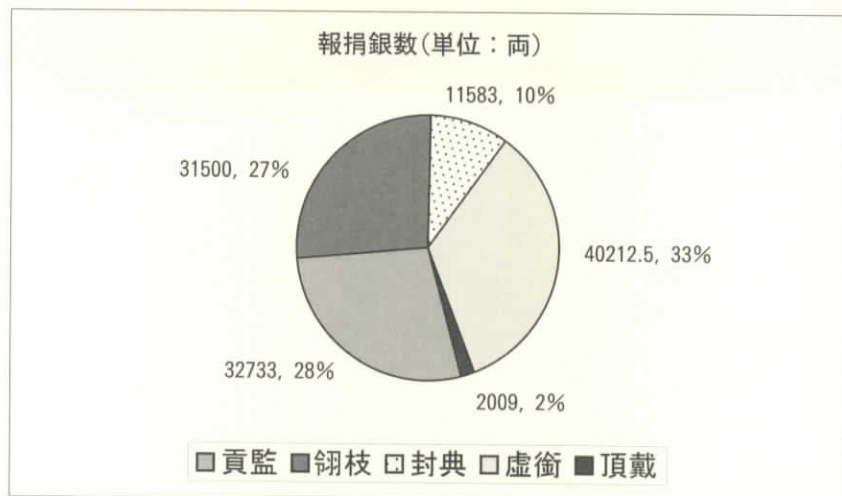
報捐者身分の問題に関連して、報捐項目を見てみよう。



## 5、報捐項目

光緒十五年蘇浙賑捐の報捐項目について、すでに述べたように、封典・虚銜・貢監・翎枝・(二品までの)頂戴である。こののべ789名の報捐者が報捐した項目は以下の通りである。

報捐者全体の64%を占める501人が「貢監」を報捐した。その原因は、おそらく「貢監」は捐納や出身の入り口であり、科挙への近道でもある、というところにある。先に述べた報捐者の67%を占める532名の「俊秀」のほとんどは、この「貢監」を報捐した。この貢監の資格があれば、さらに実際のポストを捐納することができる。「貢監」に次ぐ二番目に多いのは虚銜の218名(28%)である。ここで、その半分にあたる121名は、「従九品職銜」を報捐した「俊秀」であることに注目したい。官界においては、この「従九品職銜」はほぼ無意味と言ってよいが、なぜこれほど多くの「俊秀」が銀40両を出し「従九品職銜」を捐納したのか、彼らおよび彼らの生業にとってその職銜がどのような意味をもつのか、さらにその職銜を有する者に対し、社会はどのように見ていたのか。これらの問題は、前近代中国人ないし現代中国人がもつ社会意識を解明するための重要な糸口になれるかもしれない。



## 6、報捐銀数

最後に、報捐金額を見てみよう。

のべ789の報捐者が納めた金額の総数は、銀118,037.5両であるが、平均すれば一人がおよそ銀150両を捐納したということである。5の「報捐項目」に比べれば、報捐者の63%を占める501名の「貢監」報捐者が納めた銀は、全体の28%、32,733両にとどまることがわかる。それは、貢監の報捐価格が割引きされ、本来108両の監生資格は、五割引の54両を払えば入手できるようになったからである。しかし、率にして5%の39名に過ぎない翎枝の報捐者が納めた銀は、31,500両(27%)にのぼる。翎枝の報捐者がほとんど現職官僚や候選候補官のことを含めて考えれば、ここで、道員や知府のような高位を有する者は、なぜ花翎を報捐するのかは、なかなか興味深い問題である。光緒十六年の秋頃、李鴻章は崧駿宛てに送る浙江賑捐の停止を促す電報のなかに、「其零星獎票、務飭各局切勿併獎翎枝、致碍順直捐路」、という文言がある。こうしたことを含めて考えれば、清末の賑捐のなかで翎枝がすでに「主力商品」になっているといえよう<sup>13)</sup>。

このなかで、納めた銀が最も少ないのは、「已滿吏」俞光第 (No.234) であり、彼がわずか銀25両を出して、「従九品職銜」を報捐した。これに対し、最高額



を出したのは「福州海防同知」への着任を待つ徐承禧（No.113）である。彼は、2,873.5両を出し、「三品昇銜」を報捐した。

## おわりに

以上、光緒十五年～十六年の間に浙江省で実施した「江浙賑捐」の報捐者名簿に基づいて、報捐者の基本状況を分析した。他の報捐者名簿類資料が発見されていない現在、この資料を通じて説明できることは限られるが、学界の参考に供したい。

この賑捐は、任官資格を捐納しうる「大捐」ではなく、文官の銓選とは直接関係しない貢監・翎枝・封典などを捐納する「常捐」に属するものである。このような地方捐納が実施されるときに、まず注目したいのは、「貢生」と「監生」の資格を捐納した者は、報捐者全体（のべ人数）の64%を占めることである。

すでに述べたように、「貢生」と「監生」とは清朝時代の国立学校の学生資格であった。科挙制度の規定によれば、地方官が主催する「県試」・「府試」・「院試」など一連の試験に合格した成績優秀者に京師国子監の入学資格を与えることにする。このようなものは「貢生」や「監生」と呼ばれる。ここで強調したいのは、この「貢生」や「監生」の資格は、国立学校の学生資格でありながら、「郷試」の受験資格でもあり、任官資格でもあった。ひと言でいえば、中国伝統社会の支配階級への第一歩であった。たとえば、清朝の規定によれば、「貢生」は、「小京官・知県・教職・州判」の任用資格であったことがわかる<sup>14)</sup>。さらに、捐納の関係規定によれば、「貢生」や「監生」は、一般人民が官職を捐納する際の必要資格でもあった。つまり、それらの資格がなければ、官職を捐納することができない。

清代の制度によれば、「貢生」や「監生」の資格は、「県試」をはじめとする一連の地方試験をクリアしてから獲得するものであった。正常の手順にすれば、この「県試」などの地方試験をクリアするのはそれほど簡単ではなかった。科挙を風刺し官吏の腐敗をあばく有名な清朝時代の小説である『儒林外史』のな

かで登場する人物の一人である周進は、数十年にかけて上記の試験をクリアすることができなかった。そこで、「貢生」や「監生」の資格を獲得しようとする者をターゲットに、これらの項目の捐納を清朝支配の初期から実施することになった。つまり、捐納して「貢生」や「監生」の資格を得ることができる。こうすれば、一般人民は、「県試」や「府試」などの地方試験を飛ばし、各省で行なう「郷試」に直接参加することができ、任官や官職を捐納する資格を入手することもできるようになった。先の周進は、結局、知人から集められた銀200両を使って監生の資格を捐納し、ようやく「郷試」を受けることができるようになった<sup>15)</sup>。本件のなかで報捐者全体（のべ人数）の63%が「貢生」や「監生」を捐納するのは、このためであると考えられる。

注目すべき第二点は、「翎枝」の捐納である。翎枝とは、清朝皇族や官僚などの帽子に飾られる鳳凰や雉の羽毛であり、「花翎」と「藍翎」の二種類がある。本来、翎枝は、貝子や護衛などの皇帝の側近のみ飾られるものであった。清朝の初年、「功績偉茂」の「勳臣」へ「花翎」を賜うことがあったが、乾隆年間、皇帝の「特恩」として、郡王・内閣大学士・総督などにも「花翎」を与えることになった。清朝の皇族である昭槿は、彼が九歳の時に乾隆帝より「双眼花翎」を与えられたことについて、「実為千古榮遇、至今思之、猶感激涕零云」、と記している<sup>16)</sup>。要するに、現代の勲章をはるかに上回る名誉を意味するものであった。この事例のなかで、率にして5%の39名に過ぎない翎枝の報捐者が納めた銀は、31,500両（27%）にのぼり、一人あたりの報捐した銀の数量からすれば、「頂戴」（官僚制服の帽子）を報捐した2009両に次ぐ808両であり、「封典」・「虚銜」・「貢監」などを報捐するものをはるかに上回ったことがわかる。このことから、清末になって翎枝がすでに捐納の「主力商品」になっているといえよう。翎枝の報捐者がほとんど現職官僚や候選候補官のことを含めて考えれば、ここで、道員や知府のような高いポスト有する者は、なぜ花翎を報捐するのかは、さらに研究すべき問題である。

最後に、注目すべき第三点は、20代報捐者が報捐者全体（721名）の約三分の一を占めることである。すでに述べたように、20代報捐者の7割以上を占める170人は、何の出身資格を持たない「俊秀」であった。そのうちの143人が報

捐した項目は、「監生」であった。資料の制限もありさらに追跡することができないが、清朝末年のことを考えれば、彼らが「監生」の資格を手にする目的は、「郷試」の参加より、おそらくさらに官職を捐納する、というところにあったに違いない。この点から、19世紀のすえ、20代の若者が「監生」の捐納を出世の道としてなお引き続き求めていることが窺える。このようなことは伝統中国から近代中国へ移行する19世紀後半の中国社会や中国人の社会意識を考えるうえで注目に値する事例であるだろう。

以下、『造送浙江賑捐第十三次請獎各捐生履歴銀数底冊』から重要な項目を抽出して表を作成し、研究者の参考に供する。その表の項目については、「番号」は、『造送浙江賑捐第十三次請獎各捐生履歴銀数底冊』の順番に従いつけたもの、「身分」は報捐時のもの、「捐項」は報捐する項目、「銀数」は報捐者が捐納した銀の数額である。

#### 注

- 1) 『史記』(北京、中華書局、1959年)、巻6、秦始皇本紀、第224頁。
- 2) 織田万主編『清国行政法』第6巻(東京、臨時台湾旧慣調査会、1913年)、第203～246頁。
- 3) 許大齡『清代捐納制度』(北京、燕京大学、1950年)。許大齡『明清史論集』(北京、北京大学出版社、2000年)所収。
- 4) 近藤秀樹「捐納制度と清朝官僚制度の終結」(『史林』、第46巻第2～4号、1963年3、5、7月)。ここで、以下の二点に注意してほしい。まず、「清朝官僚制度の終結」とはいえるものの、「新しい権力と新しい支配原則」のもとで中国の再生は果たしてできたのか。少なくとも官僚制度の面に限って清朝以来およそ百年あまり中国が歩んできた道を見れば、「清朝官僚制度の終結」は中国における官僚制度の終結ではなかったことがわかる。中国的官僚制度は「終結」することなく、過去の伝統を継承しながらますます強くなってきた。たとえば、俗塵と無縁なはずであったお寺の世界に至るところまでに官僚制度の影響が見えてくる。僧侶たちは、国家の幹部制

度に従い、「局長」や「課長」のような階級に付けられるようになった。次に、結果から言えば、清末捐納制度は清朝支配の終焉にたしかに影響があった。しかし、清朝政府が1851年から太平天国期の混乱を切り抜き、国内の自然災害の救助、列強の侵略などの内憂外患を辛うじて乗り越えられたことを支えたのは、捐納をはじめとする「弊政」であったことを忘れてほしい。もしそれらを実施しなければ、江南を中心とする財政基盤をすでに大部失い、内憂外患に悩んでいた清朝政府は、財政の面でなにをもって国政を運営するのか。この意味からすれば、捐納などは、清朝政府にとって延命措置であったが、近代中国は1840年のアヘン戦争以後のような激動の時代を艱難に艱難を重ね、さまざまな難題を満身創痍に乗り越え、国家独立の維持、中国文化伝統の維持、そして後日発展の基礎を確保しえた措置ともいえよう。また、その時代の清朝政府は、捐納のような「弊政」を実施しなければ、『天朝田畝制度』や『資政新編』といったものを持ち、南京を占領した太平天国の政権は、はたして当時の中国が直面するさまざまな内憂外患を解決することができたのか。かれらは中国の国家を運営する能力を持っていたのか。当時の中国を囲む状況からすれば、清朝政府の努力がなければ、かつてアフリカ・西アジア・インド・東南アジアで何度も上演された欧米列強による国土分割と植民地支配の光景が、中国の土地でもう一度上演されることになったであろうことは否定できない。制度を研究するものは、道徳裁判所の裁判官になってはならない。その制度が実施されていた時代という条件のもとに即して研究し評価すべきと思う。

- 5) 拙稿「清代捐納制度論考——報捐を中心に——」、夫馬進編『中国地方檔案の研究』（京都、京都大学文学部、1997年）、第103～130頁。なお、この問題に関連して、以下の拙稿は参考になれば幸いと思う。「捐納と印結について——清代捐納制度論考（二）——」、『史林』、八十六巻一号、2003年1月、第1～34頁。「清代の捐納制度と候補制度について——捐納出身者の登用問題を中心に——」、岩井茂樹編『中国近世社会の秩序形成』（京都、京都大学人文科学研究所、2004年）、第361～412頁。
- 6) 前近代中国の官僚名簿について、中島立子『『摺紳全書・中枢備覧』所在



目録』、『東洋文庫書報』第9号、東京、東洋文庫、1977年3月、第129～140頁；拙稿「前近代中国の職員録」、『大阪経済法科大学論集』第88号、2004年10月、第59～82頁を参照。

- 7) それは資料編纂者の計算ミスか、それとも東洋文庫所蔵の該資料に缺丁があるかはわからないが、本文での叙述はわたくしが実際に確認した数字に従う。なお、扉の文書には、人数と銀数の部分に訂正の跡が残されている。その「七百九十三名」の「九十三」は紙に書かれて、「八十八」(?)の上に貼り付けられるものである。銀数でも同じである。「十一万八千二百九十一両五錢」の部分は何度も書き直した。「二百九十一」の下に覆いかぶされる文字は確認できないが、その横に、「九百六十一」と書いてある。なお、名簿の作成者について、この名簿は、「浙江賑捐核獎総局」としてあるが、先の『賑務卷』に記載する「浙江賑捐核獎局」とは少し異なる。さらに不可解なこともある。それはNo.160番の俊秀の名前は「聞人永泉」である。
- 8) 「No.」は、筆者がつけた通し番号である。「捐生」とは、捐納出身の監生で、「捐員」とは、捐納出身の官僚有資格者である。
- 9) 『申報』、光緒十五年八月十六日、八月十七日、八月二十二日。
- 10) 『申報』、光緒十五年九月十八日、二十一日。
- 11) 江浙賑捐の起案・上奏・許可・実施、および報捐項目などについては、別に稿を起したい。なお光緒十五年の江南水害について、拙稿「災害情報の伝達と救済資金の調達——1889年中国江南の水害を中心に——」（『東アジア研究』、第43号、2005年12月）、第19～33頁を参照。
- 12) 『大清摺紳全書』、光緒十六年冬季京師榮祿堂刊本。
- 13) 『賑務卷』、第128b～129a 頁。
- 14) 『清史稿』（北京、中華書局、1976年）、卷百十、選舉志、第3305頁。
- 15) 吳敬梓『儒林外史』（北京、人民文学出版社、1958年）、第28～29頁。
- 16) 『清史稿』、卷百三、輿服志、第3058頁。昭榿『嘯亭統録』（昭榿『嘯亭雜録』、北京、中華書局、1980年）、卷一、第382～383頁。

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (五)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
1	捐員	黃朝傑	11	浙江壽甯	藍翎	500.0	37	捐員	周鳳梧	39	湖北咸寧	花翎	1000.0
2	捐員	史慈揚	32	江蘇陽湖	花翎	1000.0	38	捐員	錢康葵	36	浙江嘉興	花翎	1000.0
3	捐員	陶鳳澤	53	江蘇陽湖	花翎	1000.0	39	捐員	伍學沂	30	廣東順德	藍翎	500.0
4	捐員	王錫初	30	江蘇清河	花翎	1000.0	40	捐員	周昌鹿	26	浙江上虞	職銜	1000.0
5	捐員	莊效超	44	江蘇上元	藍翎	500.0	41	捐員	唐昌能	15	江西德化	翰林院侍詔銜	180.0
6	捐員	王發	47	江蘇江寧	花翎	1000.0	42	捐員	邵祥驥	24	浙江烏程	太常寺博士銜	375.0
7	捐員	羅開柯	64	江蘇上海	花翎	1000.0	43	捐員	陸景獻	23	浙江仁和公司	監典籍銜	180.0
8	捐員	顧壽岳	33	浙江烏程	花翎	1000.0	44	捐員	張平	37	湖州正藍	國子監外郎銜	1016.0
9	捐員	張志汾	30	浙江新軍	藍翎	500.0	45	捐員	張陽符	26	山東榮城	翰林院侍詔銜	180.0
10	捐員	吳明鈺	35	浙江餘姚	花翎	1000.0	46	捐員	王恩復	23	直隸定州	主事銜	830.0
11	捐員	楊復	46	正黃旗	花翎	1000.0	47	捐員	蔡相讓	23	浙江餘姚	中書科中書銜	325.0
12	捐員	胡永焯	58	安徽休寧	花翎	1000.0	48	捐員	馬裕藻	13	浙江鄞縣	光祿寺署正銜	270.0
13	捐員	陳汝壽	23	正白旗	藍翎	1000.0	49	捐員	潘世鈞	49	浙江嘉善	中書科中書銜	325.0
14	捐員	林李源	27	順天大興	藍翎	500.0	50	捐員	馮維相	21	浙江餘姚	詹事府主簿銜	325.0
15	捐員	周培坤	32	福建龍溪	藍翎	500.0	51	捐員	張祖槐	24	浙江餘姚	光祿寺署正銜	450.0
16	捐員	馮光松	52	浙江餘姚	藍翎	500.0	52	捐員	馮慶	36	浙江海寧	中書科中書銜	325.0
17	捐員	陸學穎	24	浙江歸安	藍翎	500.0	53	捐員	王忠標	29	浙江餘姚	中書科中書銜	325.0
18	捐員	馮京澤	37	浙江歸安	花翎	1000.0	54	捐員	周培坤	32	浙江餘姚	國子監典簿銜	250.0
19	捐員	龍錫穎	23	廣東順德	藍翎	500.0	55	捐員	王思培	28	浙江餘姚	光祿寺署正銜	450.0
20	捐員	鍾光澤	36	浙江秀水	藍翎	500.0	56	捐員	包灑	16	江蘇丹徒	翰林院孔目銜	160.0
21	捐員	龍光澤	29	浙江會稽	藍翎	500.0	57	捐員	鄭宗光	21	浙江龍巖	員外郎職銜	1383.0
22	捐員	夏光熊	54	江蘇通州	花翎	1000.0	58	捐員	沈世鏗	47	浙江烏程	中書科中書銜	325.0
23	捐員	鍾光澤	55	江蘇通州	花翎	1000.0	59	捐員	徐相唐	31	浙江龍泉	中書科中書銜	180.0
24	捐員	劉光	44	正黃旗	藍翎	1000.0	60	捐員	顧家旺	10	江蘇上元	翰林院侍詔銜	180.0
25	捐員	徐承燮	31	安徽績溪	藍翎	1000.0	61	捐員	顧潤珪	38	江蘇嘉定	光祿寺署正銜	450.0
26	捐員	余鈺	23	安徽青陽	藍翎	500.0	62	捐員	吳家棠	22	浙江歸安	中書科中書銜	325.0
27	捐員	曹鴻澤	58	浙江嘉興	藍翎	2000.0	63	捐員	李煥章	60	浙江歸安	翰林院侍詔銜	180.0
28	捐員	葛維垣	44	直隸承德	藍翎	1000.0	64	捐員	徐泰	38	浙江海鹽	國子監典簿銜	120.5
29	捐員	鄭宗光	41	浙江鄞縣	藍翎	500.0	65	捐員	吳毓麟	6	浙江仁和	國子監典簿銜	180.0
30	捐員	夏彬生	24	江蘇南匯	藍翎	1000.0	66	捐員	何慶湖	23	湖南道州	布理固職銜	150.0
31	捐員	孫承澤	31	順天大興	藍翎	500.0	67	捐員	謝壽年	16	江蘇常熟	把總職銜	150.0
32	捐員	祝時泰	47	福建侯官	藍翎	1000.0	68	捐員	葉慶淵	45	廣東嘉應	縣丞職銜	60.0
33	捐員	周繼仁	37	湖南益陽	藍翎	500.0	69	捐員	葉夢元	13	浙江仁和公司	州同職銜	150.0
34	捐員	何廷揚	47	廣東番禺	藍翎	500.0	70	捐員	湯兵謙	42	浙江烏程	向知職銜	1000.0
35	捐員						71	捐員	王錫藩	31	浙江奉化	布理固職銜	150.0
36	捐員						72	捐員					

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數
73	捐生	施承彬	40	浙江武康	州同職銜	150.0	109	捐生	禾傳俊	35	浙江會稽	同知職銜	1000.0
74	捐生	錢文彬	40	浙江海鹽	照磨職銜	60.0	110	捐生	沈鴻章	18	浙江仁積	布理問職銜	150.0
75	捐生	葉鳴祥	29	浙江慈谿	同知職銜	1000.0	111	捐生	沈成鳳	49	浙江德清	布理問職銜	150.0
76	捐生	潘祖德	26	江蘇吳縣	鹽大使職銜	100.0	112	捐生	吳振坤	35	浙江鎮海	州同職銜	150.0
77	捐生	保謙	35	漢州正藍	同知昇銜	634.0	113	捐生	余欽	56	江蘇六合	三品職銜	2873.5
78	捐生	黃朝傑	11	浙江海鹽	縣丞職銜	100.0	114	捐生	徐承欽	31	安徽績溪	同知昇銜	634.0
79	武生	陳雲光	36	直隸樂亭	守備職銜	300.0	115	捐生	曹家瑞	16	安徽青陽	鹽大使職銜	100.0
80	捐生	張雲良	52	廣東新安	同知職銜	1000.0	116	捐生	徐贊唐	32	浙江龍泉	按知事職銜	100.0
81	捐生	謝克樞	62	浙江鄞縣	鹽大使職銜	100.0	117	捐生	施肇曾	25	浙江錢塘	縣丞職銜	100.0
82	捐生	鄭毓熊	15	浙江慈谿	同知昇銜	634.0	118	捐生	孫國培	36	浙江仁和	布理問職銜	150.0
83	捐生	馬純清	35	浙江海寧	州同職銜	150.0	119	捐生	朱相	52	浙江烏程	同知昇銜	1472.5
84	捐生	許鼎鈞	19	浙江嘉興	縣丞職銜	100.0	120	捐生	徐逢吉	34	浙江桐鄉	布理問職銜	150.0
85	捐生	黃泰謀	37	浙江會稽	運判昇銜	979.5	121	捐生	葛培義	43	湖南湘鄉	四品頂戴	2009.0
86	捐生	馬純清	33	浙江餘姚	州同職銜	150.0	122	捐生	孫吉孚	45	浙江歸安	布理問職銜	150.0
87	捐生	法昌興	20	浙江海寧	布理問職銜	150.0	123	捐生	郭立朝	39	湖南湘陰	同知昇銜	450.0
88	捐生	袁在興	39	浙江鎮海	縣丞職銜	100.0	124	捐生	應約之	19	浙江海寧	同知昇銜	180.0
89	捐生	謝培	43	浙江餘姚	縣丞職銜	100.0	125	捐生	朱善第	26	浙江海寧	國子監典簿職銜	100.0
90	捐生	周集成	22	浙江餘姚	鹽運同知事職銜	100.0	126	捐生	符謙	69	廣東海康	按知事職銜	100.0
91	捐生	陳之謙	33	浙江餘姚	州同職銜	150.0	127	捐生	張謙	49	廣東順德	州同職銜	150.0
92	捐生	馮景周	24	浙江餘姚	同知職銜	675.0	128	捐生	杜友白	48	河南孟縣	同知昇銜	519.0
93	捐生	李國榮	35	浙江上虞	同知職銜	100.0	129	捐生	胡汝淵	52	陝西漢陰	同知昇銜	519.0
94	捐生	簡容光	33	廣東鶴山	縣丞職銜	150.0	130	捐生	陳寶慶	53	廣東大埔	同知昇銜	634.0
95	捐生	伍鏡湖	69	廣東新寧	州同職銜	150.0	131	捐生	馬應鳳	32	廣東潮陽	守禦所千總銜	1000.0
96	捐生	伍鏡湖	54	廣東新寧	州同職銜	150.0	132	捐生	李朝銓	46	廣東嘉應	同知職銜	1000.0
97	捐生	梁鳳芳	46	廣東嘉應	州同職銜	150.0	133	捐生	郭玉潤	40	順天長沙	同知職銜	1000.0
98	捐生	鄧澤清	27	浙江吳縣	州同職銜	150.0	134	捐生	郭玉潤	40	順天長沙	同知職銜	357.0
99	捐生	金萃康	19	浙江山陰	布理問職銜	150.0	135	捐生	郭雲鵬	19	江蘇高郵	同知職銜	60.0
100	捐生	陳祥麟	27	浙江餘姚	州同職銜	150.0	136	捐生	謝發慶	43	廣東文昌	按總職銜	125.0
101	捐生	李光裕	32	湖南長沙	布理問職銜	150.0	137	捐生	曹模	77	廣東澄海	按照磨職銜	95.0
102	捐生	徐廷貞	17	陝西安康	鹽大使職銜	100.0	138	捐生	林輝春	32	廣東文昌	按知事職銜	100.0
103	捐生	謝杭	36	浙江秀水	州同職銜	150.0	139	捐生	孫兆鳳	27	浙江餘姚	鹽大使職銜	100.0
104	捐生	李光裕	32	湖南長沙	布理問職銜	634.0	140	捐生	陳鳳山	41	廣東文昌	按總職銜	60.0
105	捐生	徐廷貞	17	陝西安康	鹽大使職銜	150.0	141	捐生	潘泰增	41	江蘇南匯	州同職銜	150.0
106	捐生	陳光藻	36	浙江秀水	州同職銜	150.0	142	捐生	陳慶慶	45	直隸玉田	同知昇銜	519.0
107	捐生	陳光藻	36	浙江秀水	州同職銜	100.0	143	捐生	吳勤學	34	浙江仁和	從九品職銜	49.0
108	捐生	陳光藻	36	浙江秀水	州同職銜	150.0	144	捐生	許吉平	39	浙江天台	從九品職銜	40.0

## 清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
145	俊秀	黃湖壽	40	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	181	俊秀	伍鳳翔	74	廣東新寧	從九品職銜	40.0
146	俊秀	殷伯純	19	浙江嘉善	從九品職銜	40.0	182	俊秀	伍鳳光	56	廣東新會	從九品職銜	40.0
147	俊秀	丁德谷	47	浙江上海	從九品職銜	40.0	183	俊秀	趙國材	51	廣東新會	從九品職銜	40.0
148	俊秀	謝錫齡	32	浙江上海	從九品職銜	40.0	184	俊秀	趙國瑞	57	廣東新會	從九品職銜	40.0
149	俊秀	程寬遠	20	安徽歙縣	從九品職銜	40.0	185	俊秀	趙國勳	54	廣東新會	從九品職銜	40.0
150	俊秀	葉嘉英	32	浙江山陰	從九品職銜	40.0	186	俊秀	蔡崇高	63	浙江鄞縣	從九品職銜	40.0
151	俊秀	陳廷範	11	浙江海寧	從九品職銜	40.0	187	俊秀	舒錫壽	28	浙江鄞縣	從九品職銜	40.0
152	俊秀	張政端	24	浙江海寧	從九品職銜	40.0	188	俊秀	毛沛然	47	浙江江山	從九品職銜	40.0
153	俊秀	龍兆基	12	湖南安化	從九品職銜	40.0	189	俊秀	朱廷	39	浙江上海	從九品職銜	40.0
154	俊秀	韋輝	32	浙江東陽	從九品職銜	40.0	190	俊秀	吳作人	24	浙江長興	從九品職銜	40.0
155	俊秀	許成周	34	浙江天台	從九品職銜	40.0	191	俊秀	周志彪	44	浙江諸暨	從九品職銜	40.0
156	俊秀	許成璋	29	浙江天台	從九品職銜	40.0	192	俊秀	周維馨	20	浙江江山	從九品職銜	40.0
157	俊秀	鄭聖	47	浙江浦江	從九品職銜	40.0	193	俊秀	邵伯魯	49	浙江餘姚	從九品職銜	40.0
158	俊秀	鍾文程	69	浙江浦江	從九品職銜	40.0	194	俊秀	邱煥良	33	浙江歸安	從九品職銜	40.0
159	俊秀	方華賓	64	浙江義烏	從九品職銜	40.0	195	俊秀	張汝昌	21	浙江歸安	從九品職銜	40.0
160	俊秀	聞人永泉	34	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	196	俊秀	吳興寶	20	浙江歸安	從九品職銜	40.0
161	俊秀	史致陞	38	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	197	俊秀	來晉瀛	22	浙江蕭山	從九品職銜	40.0
162	俊秀	趙炳燦	60	浙江諸暨	從九品職銜	40.0	198	俊秀	高埭	39	浙江山陰	從九品職銜	40.0
163	俊秀	駱維嶽	27	浙江新昌	從九品職銜	40.0	199	俊秀	陳啟瀛	54	浙江上海	從九品職銜	40.0
164	俊秀	柴富章	67	浙江山陰	從九品職銜	40.0	200	俊秀	徐忠達	39	浙江長興	從九品職銜	40.0
165	俊秀	王謀惠	63	浙江新昌	從九品職銜	40.0	201	俊秀	宗昭	17	浙江嘉興	從九品職銜	40.0
166	俊秀	吳廷桂	51	浙江海寧	從九品職銜	40.0	202	俊秀	王文蔚	26	浙江長興	從九品職銜	40.0
167	俊秀	俞傳鈞	15	浙江海寧	從九品職銜	40.0	203	俊秀	王椿林	55	浙江江山	從九品職銜	40.0
168	俊秀	金大生	44	浙江長興	從九品職銜	40.0	204	俊秀	吳光釗	18	江蘇元和	從九品職銜	40.0
169	俊秀	陳惟仁	37	安徽休寧	從九品職銜	40.0	205	俊秀	宋鴻興	34	浙江上虞	從九品職銜	40.0
170	俊秀	葉樹俊	44	浙江長興	從九品職銜	40.0	206	俊秀	戴冕	32	安徽休寧	從九品職銜	40.0
171	俊秀	劉裕亭	16	浙江長興	從九品職銜	40.0	207	俊秀	黃廷奎	45	江蘇宜興	從九品職銜	40.0
172	俊秀	戚遠亭	16	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	208	俊秀	徐南凱	38	江蘇宜興	從九品職銜	40.0
173	俊秀	鄧寶華	26	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	209	俊秀	汪立熙	62	江蘇宜興	從九品職銜	40.0
174	俊秀	邱寶和	19	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	210	俊秀	汪文熙	43	安徽休寧	從九品職銜	40.0
175	俊秀	阮寶康	14	浙江餘姚	從九品職銜	40.0	211	俊秀	何承恩	25	浙江餘姚	從九品職銜	40.0
176	俊秀	吳止賢	29	浙江海鹽	從九品職銜	40.0	212	俊秀	張修齊	27	浙江餘姚	從九品職銜	40.0
177	俊秀	劉景馨	62	廣東新寧	從九品職銜	40.0	213	俊秀	陳之瑛	21	浙江餘姚	從九品職銜	40.0
178	俊秀	李錫芳	52	廣東鶴山	從九品職銜	40.0	214	俊秀	陳之瑛	20	浙江諸暨	從九品職銜	40.0
179	俊秀	伍國瑞	71	廣東新寧	從九品職銜	40.0	215	俊秀	李思淦	25	浙江諸暨	從九品職銜	40.0
180	俊秀					40.0	216	俊秀		53	浙江會稽	從九品職銜	40.0



清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
217	俊秀	張璋	34	浙江會稽	從九品職銜	40.0	253	俊秀	雷正揚	36	四川富順	從九品職銜	40.0
218	俊秀	羅雲瑞	29	浙江會稽	從九品職銜	40.0	254	俊秀	鄧德光	51	廣東歸善	從九品職銜	40.0
219	俊秀	姚雲瑞	38	浙江臨海	從九品職銜	40.0	255	俊秀	李植榮	49	浙江鄞縣	從九品職銜	40.0
220	俊秀	許宗慎	26	浙江山陰	從九品職銜	40.0	256	俊秀	劉士清	49	四川新都	從九品職銜	40.0
221	俊秀	吳中璇	24	浙江山陰	從九品職銜	40.0	257	俊秀	鍾鳳章	33	廣東龍川	從九品職銜	40.0
222	俊秀	陳珍璇	25	浙江仁和	從九品職銜	40.0	258	捐生	周珍	26	江蘇丹徒	縣丞職銜	100.0
223	俊秀	陳珍林	22	浙江天台	從九品職銜	40.0	259	捐員	葉鴻祥	29	浙江山陰	加級封典	200.0
224	俊秀	邱桂林	45	浙江天台	從九品職銜	40.0	260	捐員	陳雲鈞	52	廣東新安	加級封典	1540.0
225	俊秀	王殿光	49	浙江臨海	從九品職銜	40.0	261	捐員	陳雲鈞	52	廣東新安	加級封典	200.0
226	俊秀	黃頌聲	47	浙江臨海	從九品職銜	40.0	262	捐員	姚以釗	34	浙江德水	加級封典	150.0
227	俊秀	黃壽昌	50	浙江金華	從九品職銜	40.0	263	捐員	鄭煥華	15	浙江秀水	加級封典	575.0
228	俊秀	吳寶善	45	浙江桐鄉	從九品職銜	40.0	264	捐員	鄭煥華	15	浙江秀水	加級封典	200.0
229	俊秀	溫東	49	廣東嘉應	從九品職銜	40.0	265	捐員	范輝	46	浙江山陰	加級封典	462.5
230	俊秀	吳桐	43	江蘇震澤	從九品職銜	40.0	266	捐員	任步蟾	47	浙江山陰	加級封典	200.0
231	俊秀	呂星普	45	浙江臨海	從九品職銜	40.0	267	捐員	范輝	46	浙江山陰	加級封典	200.0
232	俊秀	胡旭昇	32	浙江臨海	從九品職銜	40.0	268	捐員	馮慶	36	浙江海寧	加級封典	150.0
233	俊秀	蔡孔周	26	浙江臨海	從九品職銜	40.0	269	捐員	林本源	27	福建龍溪	加級封典	575.0
234	已滿吏	俞光第	37	浙江奉化	從九品職銜	25.0	270	捐員	陳之藩	33	浙江餘姚	加級封典	575.0
235	俊秀	戴顯達	62	浙江奉化	從九品職銜	40.0	271	捐員	謝元培	37	浙江餘姚	加級封典	1632.5
236	俊秀	宋鑑方	32	浙江奉化	從九品職銜	40.0	272	捐員	王恩培	28	浙江餘姚	加級封典	150.0
237	俊秀	韓觀瀾	28	浙江奉化	從九品職銜	40.0	273	捐員	顧壽喬	50	浙江烏程	加級封典	450.0
238	俊秀	張芝亭	31	浙江奉化	從九品職銜	40.0	274	捐員	梁鳳芳	46	廣東嘉應	加級封典	575.0
239	俊秀	張敬綱	70	浙江奉化	從九品職銜	40.0	275	捐員	李光裕	32	湖南長沙	加級封典	150.0
240	俊秀	張開綱	64	浙江奉化	從九品職銜	40.0	276	捐員	宋傳俊	35	浙江會稽	加級封典	200.0
241	俊秀	吳寶祿	37	浙江奉化	從九品職銜	40.0	277	捐員	吳康壽	35	浙江烏程	加級封典	350.0
242	俊秀	俞敏諒	48	浙江奉化	從九品職銜	40.0	278	捐員	湯其濤	42	浙江石門	加級封典	710.0
243	俊秀	王忠偉	41	浙江奉化	從九品職銜	40.0	279	捐員	吳毓麟	6	浙江仁和	加級封典	100.0
244	俊秀	應上德	49	浙江奉化	從九品職銜	40.0	280	捐員	周希增	30	廣東興寧	加級封典	575.0
245	俊秀	莊成鈞	46	浙江奉化	從九品職銜	40.0	281	捐員	李崇庚	62	浙江興善	加級封典	350.0
246	俊秀	程祖俊	45	浙江奉化	從九品職銜	40.0	282	捐員	周景濂	51	廣東歸善	加級封典	463.0
247	俊秀	程義輝	68	浙江永康	從九品職銜	40.0	283	捐員	郭玉麟	33	湖南長沙	加級封典	200.0
248	俊秀	胡日堆	61	浙江永康	從九品職銜	40.0	284	捐員	鍾鳳章	40	廣東龍川	加級封典	50.0
249	俊秀	鄭祖崇	38	山東長山	從九品職銜	40.0	285	捐員	馬應鳳	32	廣東潮陽	加級封典	200.0
250	俊秀	路福崇	40	山東長山	從九品職銜	40.0	286	捐員	符謙	69	廣東海康	加級封典	100.0
251	俊秀	晏立崇	23	山東淄川	從九品職銜	40.0	287	捐員	張濂	49	廣東順德	加級封典	150.0
252	俊秀		23	山東淄川	從九品職銜	40.0	288	捐員	應約之	19	浙江永康	加級封典	150.0

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
289	捐生	龐世英	35	浙江長興	貢生	60.0	325	捐生	朱廷彥	59	浙江義烏	貢生	72.0
290	捐生	蕭集成	28	浙江烏程	貢生	72.0	326	捐生	徐廷彥	44	浙江秀水	貢生	72.0
291	捐生	費慶慶	36	浙江烏程	貢生	72.0	327	捐生	屠文蔚	35	浙江秀水	貢生	72.0
292	捐生	王求霖	23	浙江蘭谿	貢生	60.0	328	捐生	沈維藻	17	浙江烏程	貢生	72.0
293	捐生	朱思樸	32	直隸定州	貢生	72.0	329	捐生	吳維藻	31	浙江龍泉	貢生	72.0
294	捐生	朱鳳逸	40	浙江餘姚	貢生	72.0	330	捐生	徐相唐	31	浙江龍泉	貢生	72.0
295	捐生	蔡祖彝	38	浙江義烏	貢生	72.0	331	捐生	徐實唐	32	浙江龍泉	貢生	72.0
296	捐生	金榮祖	26	浙江義烏	貢生	72.0	332	捐生	姚國誠	34	浙江遂安	貢生	72.0
297	捐生	陳鈞	40	浙江義烏	貢生	72.0	333	捐生	管承簡	35	浙江嵊縣	貢生	72.0
298	捐生	余念芝	60	浙江義烏	貢生	72.0	334	捐生	孫蘭芬	43	浙江會稽	貢生	72.0
299	捐生	韓壽椿	22	浙江餘姚	貢生	72.0	335	捐生	鄭佑清	43	浙江會稽	貢生	72.0
300	捐生	呂居	21	浙江新昌	貢生	72.0	336	捐生	王輅	34	浙江臨海	貢生	72.0
301	捐生	張潤祺	35	浙江新昌	貢生	72.0	337	捐生	陳慶綬	42	浙江山陰	貢生	72.0
302	捐生	徐際洙	35	浙江山陰	貢生	72.0	338	捐生	魏恕	36	浙江嵊縣	貢生	72.0
303	捐生	范宗琅	49	浙江餘姚	貢生	72.0	339	捐生	施彥彬	57	浙江仁和	貢生	72.0
304	捐生	孫錫祺	26	浙江錢塘	貢生	72.0	340	捐生	許邦治	28	浙江錢塘	貢生	72.0
305	捐生	儲真年	24	浙江宜興	貢生	72.0	341	捐生	劉煒源	36	浙江鎮海	貢生	72.0
306	捐生	朱澆	43	浙江開化	貢生	60.0	342	捐生	林鳳儀	47	浙江鎮海	貢生	72.0
307	捐生	傅毓蘭	48	浙江餘姚	貢生	60.0	343	捐生	來受謙	33	浙江蕭山	貢生	72.0
308	捐生	謝慶榮	45	浙江餘姚	貢生	72.0	344	捐生	沈善成	32	浙江桐鄉	貢生	54.0
309	捐生	邵銘鼎	54	浙江鎮海	貢生	72.0	345	捐生	湯彬	38	浙江蕭山	貢生	54.0
310	捐生	王孝思	45	浙江鎮海	貢生	72.0	346	捐生	吳上楨	44	浙江蕭山	貢生	72.0
311	捐生	張兆秀	47	浙江鄞縣	貢生	72.0	347	捐生	蔡鼎燊	37	浙江臨海	貢生	72.0
312	捐生	沈毓椿	34	浙江歸安	貢生	72.0	348	捐生	何其才	71	浙江義烏	貢生	72.0
313	捐生	郭懷清	27	浙江山陰	貢生	72.0	349	捐生	殷作霖	34	浙江長興	貢生	72.0
314	捐生	江國本	46	安徽婺源	貢生	72.0	350	捐生	謝煥	18	浙江餘姚	貢生	72.0
315	捐生	江國燦	34	安徽婺源	貢生	72.0	351	捐生	葉廷相	31	浙江慈谿	貢生	72.0
316	捐生	顧承煥	36	浙江海鹽	貢生	72.0	352	捐生	駱樹棠	50	浙江義烏	貢生	72.0
317	捐生	李廷煜	25	浙江海鹽	貢生	60.0	353	捐生	孫蔭槐	42	浙江會稽	貢生	72.0
318	捐生	張晉紳	34	浙江歸安	貢生	72.0	354	捐生	孫樹俊	40	浙江會稽	貢生	60.0
319	捐生	陳之壘	39	浙江新昌	貢生	72.0	355	捐生	宋乃份	24	浙江山陰	貢生	72.0
320	捐生	單化成	49	浙江餘姚	貢生	72.0	356	捐生	鄭之源	49	廣東文昌	十成貢生	144.0
321	捐生	李蔭	35	浙江餘姚	貢生	72.0	357	捐生	周鵬翔	70	廣東博羅	貢生	72.0
322	捐生	馬保衡	38	浙江餘姚	貢生	72.0	358	捐生	唐紀勛	32	浙江嘉興	貢生	54.0
323	捐生	宋維城	41	浙江餘姚	貢生	72.0	359	捐生	朱寶第	26	浙江海寧	貢生	72.0
324	捐生	任翰章	44	浙江餘姚	貢生	72.0	360	捐生					

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數
361	捐生	吳崇瀛	28	浙江奉化	貢生	72.0	397	俊秀	席樹麟	17	江蘇長洲	成監生准子	108.0
362	捐生	洪景武	70	福建浦城	貢生	72.0	398	俊秀	陳祖方	33	浙江餘姚	成監生准子	108.0
363	捐生	汪承濟	26	浙江崑山	成貢生准子	144.0	399	俊秀	陳振誠	37	浙江新昌	成監生准子	108.0
364	捐生	毛端綱	35	浙江義烏	成貢生准子	144.0	400	俊秀	吳章成	28	浙江東陽	成監生准子	108.0
365	捐生	顧浩	24	浙江義烏	成貢生准子	144.0	401	俊秀	朱章華	25	浙江義烏	成監生准子	108.0
366	捐生	何炳元	27	浙江山陰	成貢生准子	144.0	402	俊秀	呂瑄	21	浙江新昌	成監生准子	108.0
367	俊秀	錢國光	19	浙江山陰	成監生准子	108.0	403	俊秀	徐承鈺	8	浙江餘姚	成監生准子	108.0
368	俊秀	戴祥熙	31	浙江永嘉	成監生准子	108.0	404	俊秀	徐承鈺	5	浙江餘姚	成監生准子	108.0
369	俊秀	戴祥熙	27	浙江永嘉	成監生准子	108.0	405	俊秀	徐承鈺	4	浙江餘姚	成監生准子	108.0
370	俊秀	潘文錫	47	浙江新昌	成監生准子	108.0	406	俊秀	陸炳阜	16	浙江烏程	成監生准子	108.0
371	俊秀	張勝芳	18	浙江山陰	成監生准子	108.0	407	俊秀	陸炳阜	16	浙江烏程	成監生准子	108.0
372	俊秀	張勝芳	18	浙江山陰	成監生准子	108.0	408	俊秀	顧宗泰	20	浙江新昌	成監生准子	108.0
373	俊秀	朱共載	32	浙江山陰	成監生准子	108.0	409	俊秀	顧宗泰	18	浙江會稽	成監生准子	108.0
374	俊秀	孫錫九	21	浙江山陰	成監生准子	108.0	410	俊秀	吳宗泰	28	浙江新昌	成監生准子	108.0
375	俊秀	孫錫九	21	浙江山陰	成監生准子	108.0	411	俊秀	石俊陸	43	浙江新昌	成監生准子	108.0
376	俊秀	孫錫九	26	浙江山陰	成監生准子	108.0	412	俊秀	石俊陸	27	浙江山陰	成監生准子	108.0
377	俊秀	陳亨嘉	24	浙江山陰	成監生准子	108.0	413	俊秀	李芳棠	16	浙江山陰	成監生准子	108.0
378	俊秀	陳亨嘉	32	浙江山陰	成監生准子	108.0	414	俊秀	方積瑤	72	廣東新會	成監生准子	108.0
379	俊秀	張開鏞	27	浙江鎮海	成監生准子	108.0	415	俊秀	方積瑤	22	浙江鎮海	成監生准子	108.0
380	俊秀	鄭鍾淵	23	浙江鎮海	成監生准子	108.0	416	俊秀	趙森	20	浙江鎮海	成監生准子	108.0
381	俊秀	李成章	21	浙江鎮海	成監生准子	108.0	417	俊秀	方積瑤	8	浙江鎮海	成監生准子	108.0
382	俊秀	洪坤	19	浙江鎮海	成監生准子	108.0	418	俊秀	方積瑤	15	浙江鎮海	成監生准子	108.0
383	俊秀	蘇運濤	21	浙江鎮海	成監生准子	108.0	419	俊秀	傅慎	27	浙江鄞縣	成監生准子	108.0
384	俊秀	吳相榮	25	浙江鎮海	成監生准子	108.0	420	俊秀	傅慎	19	浙江鄞縣	成監生准子	108.0
385	俊秀	吳相榮	22	浙江鎮海	成監生准子	108.0	421	俊秀	李紹晟	30	浙江山陰	成監生准子	108.0
386	捐生	張傳經	31	浙江山陰	成監生准子	90.0	422	俊秀	宋文淵	32	浙江會稽	成監生准子	108.0
387	俊秀	史悠頤	22	浙江山陰	成監生准子	108.0	423	俊秀	施肇華	25	浙江錢塘	成監生准子	108.0
388	俊秀	何堂	22	浙江山陰	成監生准子	108.0	424	俊秀	孫繼華	25	浙江仁和	成監生准子	108.0
389	俊秀	何堂	22	浙江山陰	成監生准子	108.0	425	俊秀	孫繼華	25	浙江仁和	成監生准子	108.0
390	俊秀	吳家治	21	浙江山陰	成監生准子	108.0	426	俊秀	葉麟	16	浙江永嘉	成監生准子	108.0
391	俊秀	許鼎鈞	14	浙江山陰	成監生准子	108.0	427	俊秀	俞文衡	39	浙江新昌	成監生准子	108.0
392	俊秀	周斯陶	19	浙江山陰	成監生准子	108.0	428	俊秀	俞文衡	17	浙江新昌	成監生准子	108.0
393	俊秀	周之興	28	浙江山陰	成監生准子	108.0	429	俊秀	杜子權	18	浙江山陰	成監生准子	108.0
394	俊秀	林昭璣	27	浙江山陰	成監生准子	108.0	430	俊秀	潘鳴岐	28	安徽婺源	成監生准子	108.0
395	俊秀	林昭璣	28	浙江山陰	成監生准子	108.0	431	俊秀	余輔清	22	江西武寧	成監生准子	108.0
396	俊秀	林昭璣	28	浙江山陰	成監生准子	108.0	432	俊秀	盛世清	47	浙江鎮海	成監生准子	108.0



清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (五)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
433	俊秀	華維漢	24	浙江鎮海	十成監生准子一體鄉試	108.0	469	俊秀	樓觀淵	25	浙江嵊縣	監生	54.0
434	俊秀	梅瑞良	16	浙江臨海	十成監生准子一體鄉試	108.0	470	俊秀	袁壽祺	16	浙江嵊縣	監生	54.0
435	俊秀	翁鴻慶	27	浙江諸暨	十成監生准子一體鄉試	108.0	471	俊秀	王家式	22	浙江嵊縣	監生	54.0
436	俊秀	魏其臣	24	浙江嵊縣	十成監生准子一體鄉試	108.0	472	俊秀	邢汝霖	27	浙江嵊縣	監生	54.0
437	俊秀	魏賢齊	13	浙江嵊縣	十成監生准子一體鄉試	108.0	473	俊秀	邢汝霖	21	浙江嵊縣	監生	54.0
438	俊秀	黃星樞	28	浙江餘姚	十成監生准子一體鄉試	108.0	474	俊秀	羅士良	25	浙江歸安	監生	54.0
439	俊秀	王國寶	8	浙江餘姚	十成監生准子一體鄉試	108.0	475	俊秀	吳汝泰	19	浙江仁興	監生	54.0
440	俊秀	王國寶	22	浙江餘姚	十成監生准子一體鄉試	108.0	476	俊秀	金萃康	19	浙江仁興	監生	54.0
441	俊秀	楊成榮	18	浙江餘姚	十成監生准子一體鄉試	108.0	477	俊秀	胡輔仁	25	浙江慈谿	監生	54.0
442	俊秀	杜恆輝	32	廣東文昌	十成監生准子一體鄉試	108.0	478	俊秀	盧松	27	浙江海寧	監生	54.0
443	俊秀	林潤春	43	浙江鄞縣	監生	54.0	479	俊秀	許智達	24	浙江海寧	監生	54.0
444	俊秀	馬少白	30	浙江山陰	監生	54.0	480	俊秀	許知椿	22	浙江海寧	監生	54.0
445	俊秀	馬恩	37	浙江山陰	監生	54.0	481	俊秀	唐濟勳	34	浙江石門	監生	54.0
446	俊秀	王承欽	35	浙江江山	監生	54.0	482	俊秀	宗穆	4	浙江嘉興	監生	54.0
447	俊秀	沈啟謙	21	浙江秀水	監生	54.0	483	俊秀	毛元鵬	20	浙江江山	監生	54.0
448	俊秀	吳文鼎	31	浙江長興	監生	54.0	484	俊秀	張晉福	32	浙江江山	監生	54.0
449	俊秀	朱錦標	18	浙江平湖	監生	54.0	485	俊秀	嚴慶	15	浙江上虞	監生	54.0
450	俊秀	彭仁壽	22	福建崇安	監生	54.0	486	俊秀	岑邦翰	24	浙江餘姚	監生	54.0
451	俊秀	張國清	22	福建崇安	監生	54.0	487	俊秀	陳之錫	39	浙江新昌	監生	54.0
452	俊秀	吳水程	53	安徽歙縣	監生	54.0	488	俊秀	張成錫	44	浙江安吉	監生	54.0
453	俊秀	柴殿朝	55	浙江江山	監生	54.0	489	俊秀	張恩水	20	浙江安吉	監生	54.0
454	俊秀	楊憲章	19	浙江遂昌	監生	54.0	490	俊秀	韓步蟾	31	浙江餘姚	監生	54.0
455	俊秀	葉意章	24	浙江遂昌	監生	54.0	491	俊秀	韓蘭生	23	浙江餘姚	監生	54.0
456	俊秀	方建玉	54	安徽涇縣	監生	54.0	492	俊秀	黃瑞廷	32	浙江餘姚	監生	54.0
457	俊秀	陳敬堂	21	浙江鎮海	監生	54.0	493	俊秀	岑再禪	33	浙江餘姚	監生	54.0
458	俊秀	謝崇辛	37	浙江鎮海	監生	54.0	494	俊秀	沈田	33	浙江餘姚	監生	54.0
459	俊秀	陸昌浩	38	浙江鄞縣	監生	54.0	495	俊秀	呂金毫	50	浙江新昌	監生	54.0
460	俊秀	周秉章	25	浙江鄞縣	監生	54.0	496	俊秀	陳登燦	40	浙江新昌	監生	54.0
461	俊秀	吳士茂	29	浙江鄞縣	監生	54.0	497	俊秀	何登雲	33	浙江新昌	監生	54.0
462	俊秀	趙邦翰	24	浙江鄞縣	監生	54.0	498	俊秀	李光裕	32	湖南長沙	監生	54.0
463	俊秀	樓紹葵	39	浙江鄞縣	監生	54.0	499	俊秀	謝杭	16	陝西安康	監生	54.0
464	俊秀	張詠武	42	浙江嵊縣	監生	54.0	500	俊秀	謝錫榮	25	浙江烏程	監生	54.0
465	俊秀	張錫綸	36	浙江嵊縣	監生	54.0	501	俊秀	陸水桂	20	浙江烏程	監生	54.0
466	俊秀	裘穆初	23	浙江嵊縣	監生	54.0	502	俊秀	張煥斌	34	浙江烏程	監生	54.0
467	俊秀	喻傳佐	34	浙江嵊縣	監生	54.0	503	俊秀	張慶裕	21	浙江烏程	監生	54.0
468	俊秀	尹文彬	16	浙江嵊縣	監生	54.0	504	俊秀	楊廷鈺	47	江蘇元和	監生	54.0



清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀數
505	捐生	李樹	35	浙江烏程	監生	45.0	541	俊秀	張曹鑾	29	浙江山陰	監生	54.0
506	俊秀	沈成章	49	浙江德清	監生	54.0	542	俊秀	張子文	33	浙江山陰	監生	54.0
507	俊秀	洪嗣春	30	浙江天台	監生	54.0	543	俊秀	張森	36	浙江會稽	監生	54.0
508	俊秀	胡凌雲	44	浙江瑞安	監生	54.0	544	俊秀	汪慶初	18	浙江西安	監生	54.0
509	俊秀	蘇錫猷	14	浙江錢塘	監生	54.0	545	俊秀	陳渭成	51	浙江江山	監生	54.0
510	俊秀	曹家瑞	16	安徽青陽	監生	54.0	546	俊秀	陳渭成	42	浙江江山	監生	45.0
511	俊秀	蔡鳳麟	18	浙江海寧	監生	54.0	547	俊秀	何發燾	48	浙江金華	監生	54.0
512	俊秀	江鶴梅	24	浙江江山	監生	54.0	548	俊秀	陳爾昌	26	浙江諸暨	監生	54.0
513	俊秀	孫國璋	36	浙江仁德	監生	54.0	549	俊秀	朱慎修	53	浙江永康	監生	54.0
514	俊秀	周光耀	30	浙江諸暨	監生	54.0	550	俊秀	周聯江	31	浙江餘姚	監生	54.0
515	俊秀	葉紹光	32	浙江平陽	監生	54.0	551	俊秀	朱士光	21	浙江桐鄉	監生	54.0
516	俊秀	黃紹奎	41	浙江瑞安	監生	54.0	552	俊秀	饒林	13	浙江海鹽	監生	54.0
517	俊秀	莫恩燾	49	浙江瑞安	監生	54.0	553	俊秀	潘祖德	26	江蘇吳縣	監生	54.0
518	俊秀	虞紹奎	18	浙江仁和	監生	54.0	554	俊秀	黃朝樞	26	山東萊陽	監生	54.0
519	俊秀	卞祥熙	27	浙江烏程	監生	54.0	555	俊秀	張賜符	26	山東萊陽	監生	54.0
520	俊秀	沈森祥	24	浙江烏程	監生	54.0	556	俊秀	許方龍	14	廣東普寧	監生	54.0
521	俊秀	柳榮	24	浙江烏程	監生	54.0	557	俊秀	王信浩	26	浙江新昌	監生	54.0
522	俊秀	施承禧	40	浙江武康	監生	54.0	558	俊秀	張春泉	31	浙江嵊縣	監生	54.0
523	俊秀	卞祥驥	24	浙江烏程	監生	54.0	559	俊秀	葉紹果	30	浙江嵊縣	監生	54.0
524	俊秀	潘宗岳	26	浙江慈谿	監生	54.0	560	俊秀	周文瀚	21	浙江嵊縣	監生	54.0
525	俊秀	厲性善	25	浙江慈谿	監生	54.0	561	俊秀	錢壽榮	17	浙江嵊縣	監生	54.0
526	俊秀	簡榮	35	浙江富陽	監生	54.0	562	俊秀	馬裕始	31	浙江鄞縣	監生	54.0
527	俊秀	蔣傳霖	27	浙江富陽	監生	54.0	563	俊秀	盧卓梅	64	浙江東陽	監生	54.0
528	俊秀	胡兆銓	23	浙江山陰	監生	54.0	564	俊秀	徐卓榮	36	浙江武義	監生	54.0
529	俊秀	凌雲	19	浙江海寧	監生	54.0	565	俊秀	俞其清	24	浙江宣平	監生	54.0
530	俊秀	傅作義	40	浙江義烏	監生	54.0	566	俊秀	許鶴年	37	浙江天台	監生	45.0
531	俊秀	李景儀	11	浙江海鹽	監生	54.0	567	俊秀	傅世川	54	浙江義烏	監生	54.0
532	俊秀	袁志儼	36	浙江諸暨	監生	54.0	568	俊秀	毛瑞圖	35	浙江義烏	監生	54.0
533	俊秀	王八駿	49	浙江諸暨	監生	54.0	569	俊秀	何其才	71	浙江義烏	監生	54.0
534	俊秀	鍾學洪	51	浙江浦江	監生	54.0	570	俊秀	何錦章	35	浙江義烏	監生	54.0
535	俊秀	李德崇	15	浙江海鹽	監生	54.0	571	俊秀	蔣潤莊	46	浙江義烏	監生	54.0
536	俊秀	邱松筠	14	浙江海鹽	監生	54.0	572	俊秀	金榮祖	26	浙江義烏	監生	54.0
537	俊秀	沈實珍	19	浙江海鹽	監生	54.0	573	俊秀	陳鈞	40	浙江義烏	監生	54.0
538	俊秀	葉志榮	21	浙江海鹽	監生	54.0	574	俊秀	樓寶琛	25	浙江嵊縣	監生	54.0
539	俊秀	黃善蕙	45	浙江餘姚	監生	54.0	575	俊秀	樓寶琛	13	浙江嵊縣	監生	54.0
540	俊秀	章相錦	19	浙江會稽	監生	54.0	576	俊秀	韓宗耀	20	浙江餘姚	監生	54.0

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	額数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	額数
577	俊秀	韓松年	14	浙江餘姚	監生	54.0	613	俊秀	余步霞	19	浙江象山	監生	54.0
578	俊秀	韓榮齡	20	浙江餘姚	監生	54.0	614	俊秀	許坦	17	浙江海寧	監生	54.0
579	俊秀	張國梅	11	浙江餘姚	監生	54.0	615	俊秀	鄭良	34	浙江仁和	監生	54.0
580	俊秀	張開友	8	浙江餘姚	監生	54.0	616	俊秀	丁振佳	28	浙江嵊縣	監生	54.0
581	俊秀	陳學義	19	浙江餘姚	監生	54.0	617	俊秀	易世錕	19	湖南善化	監生	54.0
582	俊秀	陳時夏	17	浙江餘姚	監生	54.0	618	俊秀	呂朝賢	43	浙江新昌	監生	54.0
583	俊秀	崔文燦	27	浙江餘姚	監生	54.0	619	俊秀	李鴻賓	56	浙江嘉興	監生	54.0
584	俊秀	張益樹	47	浙江餘姚	監生	54.0	620	俊秀	張潤賢	22	浙江嘉興	監生	54.0
585	俊秀	王立盛	53	浙江餘姚	監生	54.0	621	俊秀	張鴻銘	22	浙江嘉興	監生	54.0
586	俊秀	魯廷燾	24	浙江餘姚	監生	54.0	622	俊秀	林國富	25	浙江嘉興	監生	54.0
587	俊秀	胡昌熙	26	浙江餘姚	監生	54.0	623	俊秀	潘世鈞	49	浙江鎮海	監生	54.0
588	俊秀	胡湖濱	19	浙江餘姚	監生	54.0	624	俊秀	鄭咸華	15	浙江秀水	監生	54.0
589	俊秀	吳鏞鈞	27	浙江餘姚	監生	54.0	625	俊秀	梁孝乾	31	浙江海寧	監生	54.0
590	俊秀	吳順	26	浙江餘姚	監生	54.0	626	俊秀	章家勳	18	浙江會稽	監生	54.0
591	俊秀	田昇生	22	浙江上虞	監生	54.0	627	俊秀	葉張芳	40	浙江雲和	監生	54.0
592	俊秀	徐增益	24	浙江餘姚	監生	54.0	628	俊秀	劉相箕	28	浙江黃巖	監生	54.0
593	俊秀	谷南枝	17	浙江餘姚	監生	54.0	629	俊秀	周福珪	37	浙江山陰	監生	54.0
594	俊秀	史仰賢	21	浙江餘姚	監生	54.0	630	俊秀	張承章	13	浙江長興	監生	54.0
595	俊秀	勞天伴	23	浙江餘姚	監生	54.0	631	俊秀	吳壽	20	浙江蘭谿	監生	54.0
596	俊秀	洪永植	36	浙江餘姚	監生	54.0	632	俊秀	杜偉莊	42	浙江上虞	監生	45.0
597	俊秀	張廷良	23	浙江餘姚	監生	54.0	633	俊秀	鄭寶光	28	浙江江山	監生	54.0
598	俊秀	李相培	25	安徽婺源	監生	54.0	634	俊秀	陳漢忠	40	浙江長興	監生	54.0
599	俊秀	虞中照	29	浙江鄞縣	監生	54.0	635	俊秀	殷士榮	26	浙江長興	監生	54.0
600	俊秀	詹昌炯	41	浙江鄞縣	監生	54.0	636	俊秀	馬樹森	32	浙江臨海	監生	54.0
601	俊秀	唐玉	41	浙江松陽	監生	54.0	637	俊秀	黃志霖	25	安徽黟縣	監生	54.0
602	俊秀	王安騰	58	浙江松陽	監生	54.0	638	俊秀	周光儀	30	浙江諸暨	監生	54.0
603	俊秀	潘管榮	32	浙江松陽	監生	54.0	639	俊秀	邱傳梧	19	浙江長興	監生	54.0
604	俊秀	周愛勳	39	浙江諸暨	監生	54.0	640	俊秀	吳良傳	42	福建寧化	監生	54.0
605	俊秀	趙志明	46	浙江諸暨	監生	54.0	641	俊秀	陰紹震	29	福建寧化	監生	54.0
606	俊秀	袁霖	40	浙江諸暨	監生	54.0	642	俊秀	王斌	30	浙江山陰	監生	54.0
607	俊秀	袁光榮	55	浙江諸暨	監生	54.0	643	俊秀	葉澤源	25	浙江山陰	監生	54.0
608	俊秀	王燕國	45	浙江鎮海	監生	45.0	644	俊秀	邢洪楷	21	浙江嵊縣	監生	54.0
609	俊秀	陳其聲	35	浙江諸暨	監生	54.0	645	俊秀	邢洪煥	16	浙江嵊縣	監生	54.0
610	俊秀	徐水諧	31	浙江諸暨	監生	54.0	646	俊秀	邢洪煥	27	浙江嵊縣	監生	54.0
611	俊秀	黃棣華	38	浙江鄞縣	監生	54.0	647	俊秀	張煥	28	浙江嵊縣	監生	54.0
612	俊秀	沈景明	32	浙江象山	監生	54.0	648	俊秀	郭結來	28	浙江嵊縣	監生	54.0

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	銀数
649	俊秀	郭緒紀	20	浙江嵊縣	監生	54.0	685	俊秀	葉大業	14	浙江永嘉	監生	54.0
650	俊秀	邢汝淩	24	浙江嵊縣	監生	54.0	686	俊秀	吳肇光	53	浙江瑞安	監生	54.0
651	俊秀	邢頌愚	16	浙江嵊縣	監生	54.0	687	俊秀	何紹江	26	浙江上虞	監生	54.0
652	俊秀	邢汝年	31	浙江嵊縣	監生	54.0	688	俊秀	祝元坡	37	福建浦城	監生	54.0
653	俊秀	邢汝霖	30	浙江嵊縣	監生	54.0	689	俊秀	吳汝占	29	浙江新昌	監生	54.0
654	俊秀	洪昌錫	10	浙江餘姚	監生	54.0	690	俊秀	吳亮光	25	浙江山陰	監生	54.0
655	俊秀	劉壽銘	10	浙江餘姚	監生	54.0	691	俊秀	沈嘉煜	28	浙江山陰	監生	54.0
656	俊秀	劉壽頌	7	浙江餘姚	監生	54.0	692	俊秀	李若毅	23	浙江嵊縣	監生	54.0
657	俊秀	馬嘉頌	21	浙江餘姚	監生	54.0	693	俊秀	李若毅	23	浙江嵊縣	監生	54.0
658	俊秀	周達全	36	浙江餘姚	監生	54.0	694	俊秀	尹少莘	23	浙江嵊縣	監生	54.0
659	俊秀	劉保基	17	浙江餘姚	監生	54.0	695	俊秀	邢文政	41	浙江嵊縣	監生	54.0
660	俊秀	劉保祥	20	浙江餘姚	監生	54.0	696	俊秀	吳文琦	41	浙江嵊縣	監生	54.0
661	俊秀	即士胤	20	浙江餘姚	監生	54.0	697	俊秀	湯鍾岳	34	浙江嵊縣	監生	54.0
662	俊秀	即斯猷	18	浙江餘姚	監生	54.0	698	俊秀	朱亦芳	31	浙江嵊縣	監生	54.0
663	俊秀	程紹麟	18	浙江餘姚	監生	54.0	699	俊秀	孫蘭芳	39	浙江嵊縣	監生	54.0
664	俊秀	程鶴翔	18	浙江餘姚	監生	54.0	700	俊秀	楊文淵	35	浙江新昌	監生	54.0
665	俊秀	謝培	43	浙江餘姚	監生	54.0	701	捐生	何慶潮	23	湖南道州	監生	45.0
666	俊秀	陳之藩	33	浙江餘姚	監生	54.0	702	俊秀	周其昌	35	浙江海寧	監生	54.0
667	俊秀	李國燾	35	廣東鶴山	監生	54.0	703	俊秀	杜友明	40	浙江海寧	監生	54.0
668	俊秀	簡谷光	69	廣東新寧	監生	54.0	704	俊秀	楊之享	29	浙江奉化	監生	54.0
669	俊秀	伍勝光	56	廣東新寧	監生	54.0	705	俊秀	謝養年	16	江蘇常熟	監生	54.0
670	俊秀	李之燾	62	廣東新寧	監生	54.0	706	俊秀	陳鶴舞	44	浙江新昌	監生	54.0
671	俊秀	李君樞	28	廣東新寧	監生	54.0	707	俊秀	陳鶴舞	38	浙江新昌	監生	54.0
672	俊秀	李君樞	62	廣東新寧	監生	54.0	708	俊秀	朱善麒	48	浙江新昌	監生	54.0
673	俊秀	伍鏡湖	73	廣東新寧	監生	54.0	709	俊秀	凌鳳詔	28	浙江會稽	監生	54.0
674	俊秀	劉榮桂	68	廣東新寧	監生	54.0	710	俊秀	余廣勤	38	安徽績溪	監生	54.0
675	俊秀	包灃	16	浙江丹徒	監生	54.0	711	俊秀	葉勇元	13	浙江仁和公司	監生	54.0
676	俊秀	葉棟	36	浙江桐廬	監生	54.0	712	俊秀	洪柱章	34	浙江天台	監生	54.0
677	俊秀	徐宗道	26	浙江桐廬	監生	45.0	713	俊秀	俞文富	25	安徽婺源	監生	54.0
678	捐生	葉實貴	35	浙江水嘉	監生	54.0	714	俊秀	俞文富	33	浙江松陽	監生	54.0
680	俊秀	金桂芳	35	浙江水嘉	監生	54.0	715	俊秀	葉宗茂	3	浙江嘉善	監生	54.0
681	俊秀	余冠芳	31	浙江水嘉	監生	54.0	716	俊秀	鄭博讓	46	浙江長興	監生	54.0
682	俊秀	經壽謙	13	浙江山陰	監生	54.0	717	俊秀	鄭博讓	42	浙江長興	監生	54.0
683	俊秀	余燾開	27	浙江遂安	監生	54.0	718	俊秀	鄧培基	36	福建侯官	監生	54.0
684	俊秀	馬西能	18	浙江會稽	監生	54.0	719	俊秀	俞燕沐	31	江蘇上海	監生	54.0
							720	俊秀	吳士榮	35	浙江嵊縣	監生	54.0

清代捐納制度に関するデータベースの構築に向けて (伍)

番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	額数	番号	身分	氏名	年齢	原籍	捐項	額数
721	俊秀	錢原	30	浙江嵊縣	監生	54.0	757	俊秀	陳冠朝	39	廣東海陽	監生	54.0
722	俊秀	吳雙源	20	浙江嵊縣	監生	54.0	758	俊秀	伍雲山	61	廣東文昌	監生	54.0
723	俊秀	林顯芳	43	浙江奉化	監生	54.0	759	俊秀	王明文	31	廣東澄邁	監生	54.0
724	俊秀	林顯隆	46	浙江奉化	監生	54.0	760	俊秀	王明書	23	廣東澄邁	監生	54.0
725	俊秀	孫瀛洲	30	浙江奉化	監生	54.0	761	俊秀	林廷玉	39	廣東澄邁	監生	54.0
726	俊秀	俞正位	49	浙江奉化	監生	54.0	762	俊秀	王德傑	29	廣東澄邁	監生	54.0
727	俊秀	何顯謨	30	浙江奉化	監生	54.0	763	俊秀	曹文瑞	25	廣東澄邁	監生	54.0
728	俊秀	林章烈	50	浙江奉化	監生	54.0	764	俊秀	李景雲	32	廣東文昌	監生	54.0
729	俊秀	張國泰	37	浙江奉化	監生	54.0	765	俊秀	歐旦雲	56	廣東文昌	監生	54.0
730	俊秀	張聯綱	23	浙江奉化	監生	54.0	766	俊秀	歐旦雲	27	廣東文昌	監生	54.0
731	俊秀	方存政	23	浙江奉化	監生	54.0	767	俊秀	韓呈祥	30	廣東文昌	監生	54.0
732	俊秀	范炳森	33	浙江奉化	監生	54.0	768	俊秀	歐厚綸	72	廣東樂會	監生	54.0
733	俊秀	范銘新	33	浙江奉化	監生	54.0	769	俊秀	歐厚綸	44	廣東文昌	監生	54.0
734	俊秀	龔上楷	44	浙江奉化	監生	54.0	770	俊秀	陳家章	29	廣東文昌	監生	54.0
735	俊秀	卓慈經	31	浙江奉化	監生	54.0	771	俊秀	韓發庸	29	廣東文昌	監生	54.0
736	俊秀	田廣年	36	浙江奉化	監生	54.0	772	俊秀	許登庸	32	廣東文昌	監生	54.0
737	俊秀	丁秉山	43	浙江奉化	監生	54.0	773	俊秀	蔡承燾	26	廣東徐聞	監生	54.0
738	俊秀	丁品良	39	浙江奉化	監生	54.0	774	俊秀	趙克猷	14	廣東文昌	監生	54.0
739	俊秀	仁禮增	24	浙江餘姚	監生	54.0	775	俊秀	鄭文煥	51	廣東文昌	監生	54.0
740	俊秀	徐紹棠	21	浙江餘姚	監生	54.0	776	俊秀	李澤寬	58	廣東文昌	監生	54.0
741	俊秀	謝裕晉	19	浙江餘姚	監生	54.0	777	俊秀	鄭鳳洲	67	廣東文昌	監生	54.0
742	俊秀	謝愚字	22	浙江餘姚	監生	54.0	778	俊秀	陳如鳳	52	廣東文昌	監生	54.0
743	俊秀	謝懋勤	18	浙江餘姚	監生	54.0	779	俊秀	陳性初	43	廣東南海	監生	54.0
744	俊秀	劉鳳榮	55	浙江餘姚	監生	54.0	780	俊秀	黃祖錦	46	廣東南海	監生	54.0
745	俊秀	劉鳳榮	52	浙江餘姚	監生	54.0	781	俊秀	林嘉修	27	廣東博羅	監生	54.0
746	俊秀	劉壽豐	11	浙江餘姚	監生	54.0	782	俊秀	周作霖	27	廣東博羅	監生	54.0
747	俊秀	符壽康	30	浙江平陽	監生	54.0	783	俊秀	李逢霖	27	廣東博羅	監生	54.0
748	俊秀	陳壽松	37	浙江平陽	監生	54.0	784	俊秀	黃慶如	59	廣東博羅	監生	54.0
749	俊秀	董繼松	40	浙江會稽	監生	54.0	785	俊秀	張廷翰	36	廣東博羅	監生	54.0
750	俊秀	陳耀文	54	廣東瓊山	監生	54.0	786	俊秀	周學榮	44	廣東博羅	監生	54.0
751	俊秀	符龍章	46	廣東樂會	監生	54.0	787	俊秀	余啟文	52	廣東博羅	監生	54.0
752	俊秀	雲茂達	48	廣東文昌	監生	54.0	788	俊秀	許友仿	38	浙江秀水	監生	54.0
753	俊秀	陳鳳山	41	廣東文昌	監生	54.0	789	俊秀	鍾含輝	46	四川華陽	監生	54.0
754	俊秀	何榮光	28	廣東樂會	監生	54.0							
755	俊秀	劉暉棠	36	廣東文昌	監生	54.0							
756	俊秀					54.0							